



きいんぐみだより

2020年度 3月号

尚徳福祉会生麦保育園

春の訪れを、あちらこちらで感じられるようになってきました。子どもたちは進級するドキドキと嬉しさを全身で表現しています。楽しみにしているフリージアの花はまだ咲いていませんが、毎日プランターに話しかけたり、水をあげたりする姿が微笑ましいきりん組の子どもたちです。

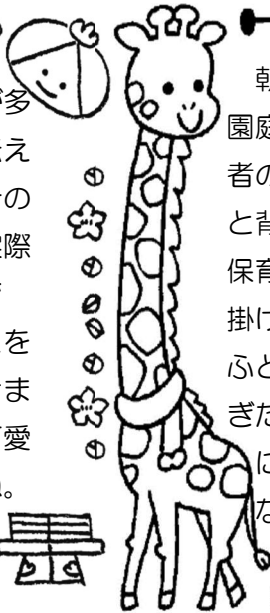
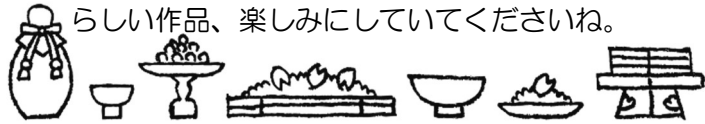
* ♪ * ♪ * ♪ * おたのしみ会 * ♪ * ♪ * ♪ * ♪

子どもたちが大好きな物語ということもあり、ストーリーやセリフをすぐに覚えていた子どもたち。最初はセリフを言うことに精いっぱい、動きが硬い印象でしたが、今では自由に動きを付けて楽しめるようになりました。劇のポイントである、「ちんぷくまんぷく〜」の呪文の部分を毎回楽しそうに言う姿に、他のクラスの子たちが一緒に口ずさむという微笑ましい場面もありましたよ。劇あそびを始めるまで大縄ができなかった子も劇遊びがきっかけでできるようになり、緊張で固まっていた子も堂々と立ち回る姿も見られるようになりました。歌では、歌詞が混ざってしまうこともありましたが、保育者のピアノが止まっても大きな声で力強く歌う姿勢に何度も助けられました。おたのしみ会の練習をしていく中で、劇中の立ち振る舞いや歌い方等、どのようにすればお客さんは楽しいか、びっくりするかを一緒に考えてきました。今年度は今までとは違う環境でのおたのしみ会となりましたが、一緒に話し合い、挑戦して出来上がった劇遊び。表情や姿に自信が感じられるようになり、一年間の成長を感じたおたのしみ会となりました。

◎ ☆ ◎ ひなまつり制作 ◎ ☆ ◎



今までは直線だけをはさみで切ることが多かったのですが、曲線や丸を切ることを伝えると「ええ〜」と少し不安そうな表情。その反応を見て保育者もドキドキでしたが、実際にやってみるとびっくり！じゃばら折りでは、5月の鯉のぼり制作の時にも同じことをしましたが、とても上手になっていて驚きました。お雛様とお内裏様の表情がとても可愛い作品、楽しみにしててくださいね。



朝の時間

朝の時間。みんなが揃うまで室内遊びや園庭遊びをじっくり楽しんでいます。保育者の近くに来ると「だっこー」「ねえねえ」と背中にギュッと抱きつく姿も。いつもは保育者が困っていると「手伝うよ」と声を掛けてくれる頼もしい子どもたちですが、ふとした時に足元に絡みついたり、手を繋ぎたがったりと、スキンシップを求める姿に癒されています。一日のほんのわずかな時間ですが、保育者にとっても大切な時間になっています。



昨年の4月、新しい部屋、新しい友だち、新しい担任に初めは緊張していた様子の子どもたち。今年度はコロナウイルスの影響もありましたが、毎日元気に登園してくる姿を見て元気をもらっていました。初めはなかなか甘えてくることもなく、お互いの感情が分からない時もありましたが、一緒に過ごしていく中で関わりが深まり「くろだせんせい」とたくさん呼んでくれるようになりました。家での出来事や、楽しかったこと、悲しかったこと、たくさん教えてくれました。友だちとの関わりも大きな変化が見られ、困っている友だちを見ると声を掛けに行く姿や、保育者がいないところで言い合いになり、泣いて助けを求めに来ることも何度もありました。たくさん経験が、子どもたちの自信に繋がったように感じています。

また、至らない部分が多く保護者の皆様にもご迷惑をかけることもたくさんありましたが、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。そう組になった子どもたちの成長を私も楽しみにしています！！